

【種別記号と提出書類一覧】

2019.6 この表は、「学校心理士資格更新手続き細則」に基づき作成したものです。

	種 別	種別 記号	ポ イ ン ト	提出書類・添付資料等	点数 記入 用紙	
①	Aに該当する研修会 [必須]			研修会参加を証明できるもの 「研修会参加記録カード」や参加証明書など。いずれも原本に限ります。	様式 1	
	学校心理士資格認定委員会が認めた研修会に受講者として参加	A	1			
②	Bに該当する研修会			(注)B2は上限3ポイントまで。	様式 1	
	学校心理士資格認定委員会が認めた研修会に受講者として参加	B1	1			
	所属支部支部長が認める自主研修会に受講者として3回以上参加	B2	0.5			
③	AまたはB1の研修会に講師として参加 (1人の講師の場合)	C1	2	(注)研修会の講師名と承認ポイントをご確認ください。	様式 2	
	AまたはB1の研修会に講師として参加 (2人以上の講師の場合)	C2	1.5			
④	スーパーバイザーの実績 (1つのケースに対して3回以上)	スーパーバイザーとして、 スーパービジョンを行った場合 「学校心理士スーパーバイザー」以外も可	D	3	・学校心理学に関するスーパービジョン実績証明書 (更新用)	様式 3
		スーパーバイザーとして、「学校心理士スーパーバイザー」以外にスーパービジョンを受けた場合	E1	3		
		スーパーバイザーとして、「学校心理士スーパーバイザー」にスーパービジョンを受けた場合	E2	4		
⑤	日本学校心理士年度大会、学校心理士認定運営機構の社員である学会(*)の総会・大会、または学校心理士資格認定委員会が認める心理学関係の学会の年次総会・大会への参加。 なお、1つの年次総会・大会においては、F～Iまでのポイント数のうち最も高いもの1つのみを有効とし、最大3ポイントまでとする。	総会・大会での単独発表または連名発表の筆頭者	F	3	・発表論文集の表紙、目次全部、該当ページのコピー ※ただし電子ジャーナル等で、冊子が発行されていない場合は、当該論文のPDFファイルをダウンロードし、それを印刷して添付すること。更新に関わるポイント申告書の出版社・発行雑誌名に、当該論文が確認できるURLを記載すること。	様式 4
		総会・大会でのシンポジウム等の企画者・司会者・話題提供者・指定討論者	G	3		
		総会・大会での連名発表者 (筆頭以外)	H	1		
		総会・大会への参加	I	1		
⑥	学校心理学に関する研究論文の発表 学会研究誌・機関誌等	単独・筆頭発表者	J	5	・該当する論文が掲載されている雑誌の表紙、目次全部のコピー	様式 4
		共著の筆頭者以外 (連名発表者)	K	3		
	学校心理学に関する研究論文の発表 大学・研究所などの紀要 市販の専門雑誌等	単独または共著の筆頭者	L	3	※ただし電子ジャーナル等で、冊子が発行されていない場合は、当該論文のPDFファイルをダウンロードし、それを印刷して添付すること。更新に関わるポイント申告書の出版社・発行雑誌名に、当該論文が確認できるURLを記載すること。	
		共著の筆頭者以外 (連名発表者)	M	1		
	学校心理学関係の著書の出版または執筆	単著	N	5	・表紙、奥付、目次全部のコピー	
		共著	O	2		
⑦	学校心理士資格認定委員会が認める海外での心理学関係の学会および研修会への参加	認定委員会企画または主催の海外研修への参加	P	5	・事務局にて確認しますので、ご申告ください。	
		学校心理学に関する国際学会・会議・研修会等へ出席・筆頭発表	Q	3	・発表論文集の表紙、目次、該当ページのコピー	
		学校心理学に関する国際学会・会議・研修会等へ出席・連名発表	R	2		
⑧	その他 (学校心理士資格認定委員会が認める学校心理士としての活動で、認定委員会のポイント証明書があるもの)	Z	1	(注)1回の更新では上限5ポイントまで有効とする。		

(*) ・日本LD学会・日本教育心理学会・日本特殊教育学会・日本発達障害学会・日本発達心理学会・日本応用教育心理学会
・日本学校カウンセリング学会・日本学校心理学会・日本学校メンタルヘルス学会・日本コミュニケーション障害学会・日本生徒指導学会